みらい川崎市議会議員団　〒210-8577　川崎市川崎区宮本町１　第二庁舎内
電話　044-200-3355

元気な川崎！いきいき川崎区！

市政だより

2022 春号

川崎市議会議員　林としお

令和4年第2回市議会定例会を終えて

「令和４年第２回川崎市議会定例会」が、２月１４日から開催され、３月１８日に閉会となりました。

みらい川崎市議会議員団では、代表質問を２月２８日に行い、「令和４年度組織改正について」や「川崎市総合計画第３期実施計画案」などについて質問しました。

また、今定例会に提出された約8,797億円の令和４年度一般会計予算案や副市長を選任する議案など計59件について、審議の結果、全議案とも原案通り可決・同意を決定しました。

市議会報告として、会派代表質問・質疑トピックスを報告させていただきます。

〈会派代表質問トピックス〉

■ 令和４年度組織改正（危機管理本部の設置）について

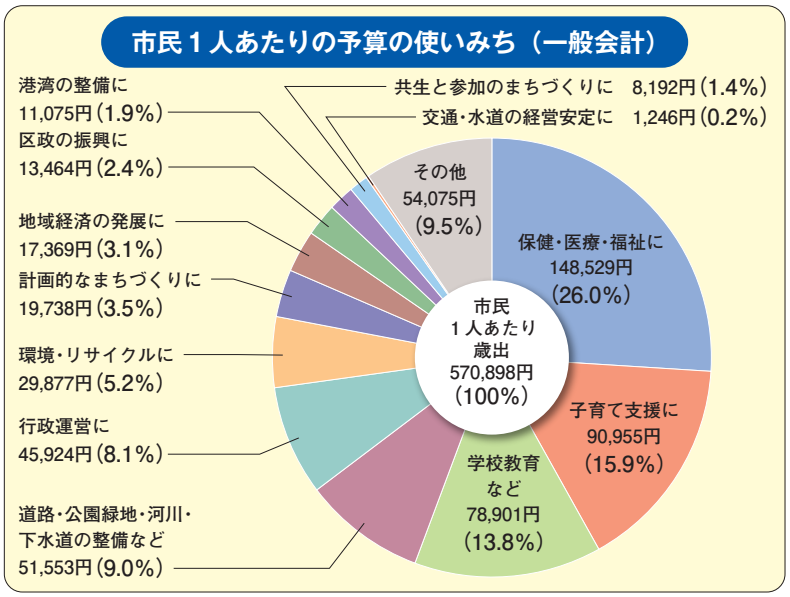
質問　**我が会派はこれまで、風水害や感染症対策など、市民の生命に係る危機事象が頻発していることから、危機管理体制を一層強化するためにも、総務企画局から分離し「危機管理本部」を設置することを提案してきました。今回、総務企画局を再編し、局相当の組織として危機管理本部の設置が示されました。令和元年度の東日本台風では、部局横断的な横軸の連携が大きな課題となりましたが、今回の改正により、どのように解決が図られるのかうかがいます。**

回答　危機管理本部の設置については、本市の危機対応力の強化及び地域防災力の更なる向上を図るため、必要な組織整備を行うものであります。具体的には、本部に、防災に関する取組の組織横断的な調整を行うため事業調整担当を置き、各局区の専門的な取組をつなぐことで相乗効果が図られるものと考えており、また、被災者に一番身近となる各区との連携強化を図るため危機管理担当を置き、より現場に即した支援を行うなど、これらの取組を融合させることで、市全体を機動的にマネジメントし、迅速かつ効果的な危機対処を目指してまいります。

■ 令和４年度 予算案について

質問　**令和４年度の当初予算は、一般会計で８，７８５億円余、前年度と比べ7%、５７７億円の増となりました。歳入では市税収入が３，６７１億円、前年度比２１７億円の増と見込んでいます。未だ、新型コロナウイルス感染症が蔓延し収束の兆しが見えない中、市税収入への影響をどのように見込んでいるのかうかがいます。**

回答　市税収入は、令和３年度の当初予算において、感染症の影響による大幅な減少を見込んでいましたが、企業収益等に対する影響が限定的であった



ことなどから、当初見込んだほどの落ち込みはありませんでした。令和４年度においては、こうした状況に加え、直近の経済指標や本市の人口動態、税制改正の影響等も勘案して見込んだものであります。

■ 風水害対策について

質問 **河港水門における中長期対策について、昨年８月のまちづくり委員会では、「今後の河港水門のあり方に関する検討会議」において「国が進める高規格堤防の整備に向けた堤防の位置」や、「河港水門の文化財としての取扱い」、「土地の有効活用」など、様々な検討が行われると報告がありました。その後の国との協議状況及び、進捗について具体的にうかがいます。**

回答 河港水門における国との協議状況等につきましては、治水・防災上や文化財保存、土地の利活用などの観点から検討を行い、優位な**「堤防前出し案」を本市の方針と定め**、現在、水門を保存した場合や移設した場合などにおける国の高規格堤防整備事業への影響について検討をおこなっており、今後、堤防の整備に向けた調整を行っていきます。また、検討の進捗状況については、**「堤防前出し案」における河港水門の文化財としての取扱いや高規格堤防整備後の上面利用**について、文化庁や学識経験者から意見を伺い、その意見を踏まえ、庁内関係部局と検討を進めているところであります。

〈代表質疑〉令和４年度川崎市一般会計補正予算について

「第３弾川崎じもと応援券」について質問しました。前回と同様に**１万円で１万２千円の買い物ができるプレミアム商品券で利用期間は７月上旬から12月31日まで**を予定。**４月下旬からウェブサイトで申し込みの受付**を行います。これまでと大きく異なるのは、**スマートフォンでの決済ができる電子商品券**となる点です。

電子化になることで１円単位で使えるようになることは、消費者にとっても、店舗側にとってもメリットです。店舗側は事務作業負担も軽減できる上、換金期間も短縮できることから、市商店街連合会からこれまでも導入が求められていました。市は、デジタル化が業務の効率や消費者の利便性向上に効果のある手法であると、市内中小企業者に実感してもらうことが目的の一つだといいます。

デジタル化を進めるにあたり、デジタル機器に不慣れな消費者への対応について市は動画を活用した操作方法の説明やコールセンターでの電話によるサポート、臨時の相談コーナーを設置して説明するとしています。事務経費は紙商品券で発行した場合、約4.6億円と想定しており、**電子商品券化により、約１億円の削減効果**が見込まれています。

今回の事業を機に、市内中小企業のデジタル化に向けたさらなる支援策を求め、市も普及につなげていきたい考えを示しました。「新しい生活様式」での経済支援や活性化に引き続き取り組んでまいります。

林 としお 事務所のご案内

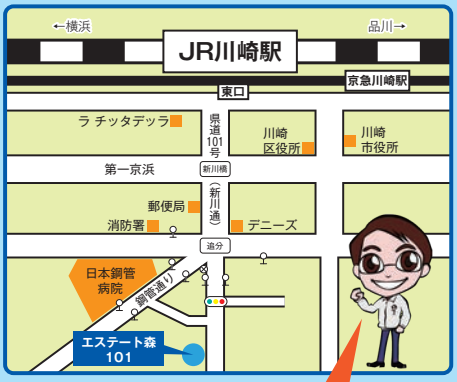
連絡先：〒210-0835 川崎区追分町6－2 エステート森101
TEL. 044-223-6625 ／ FAX. 044-223-6635
電話連絡は平日の11時～ 16時。
留守の際は、留守番電話にご伝言をお願いします。

LINE 公式アカウント

http://www.hayashitoshio.com

プロフィール
- ○1964年　1月28日生まれ
- ○1982年　旧日本鋼管（NKK）京浜製鉄所入社
- ○2014年　JFEスチール東日本製鉄所（京浜地区）総務部
- ○2015年　川崎市議会議員初当選
- ○2019年　川崎市議会議員２期目当選

川崎市議会常任委員会
2022年度　●健康福祉委員会



お住いの地域でお困りのことありましたら
遠慮なく連絡をしてください